

LED Compact-バイファンクション

2016 Automotive News PACE Award「Product award」を受賞

本年4月11日(現地時間)、株式会社 小糸製作所(本社:東京都港区、社長:三原弘志)が開発した「LED Compact-バイファンクション」は、米国自動車専門紙 Automotive News の主催する「2016 Automotive News PACE Award」の「Product award」を受賞しました。

Automotive News PACE Award は、自動車産業において革新的な技術や業界全体の進歩につながる製品の開発、及び製造プロセスなどに贈られる賞で、小糸製作所としては初めての受賞となります。

今回受賞対象となったLED Compact-バイファンクションは、LED1灯でヘッドランプのハイビームとロービームの機能を持つ、小型・軽量・省電力なLEDユニットで、2014年に世界で初めて量産化に成功しました。

LEDヘッドランプには、「点灯速度が速い、発光色が白く視認性に優れている」「光源寿命が長く、消費電力が低い」等の優れた特長がありますが、従来のLEDヘッドランプはハイビームとロービームに個別のLEDユニットを使用して構成していました(2つのLEDユニットが必要)。

本開発品は、これまでの光学系を刷新するとともに、ユニット構成部品のコンパクト化・一体化を図ることで、ハイビームとロービームの機能を1つのLEDユニットで実現しています。

小型・軽量・省電力なLED Compact-バイファンクションは、夜間走行の更なる安全に寄与するとともに、車の低燃費化と多様化するヘッドランプ意匠・車両スタイリングに貢献するものと期待しています。

当社はこれからも、最先端の技術を追求し、お客様第一の製品開発に努め、クルマ社会の安全性・快適性の向上に取り組んで参ります。

【受賞内容】

1. 業績名 Single LED Bi-functional Projector Headlamp
LED Compact-バイファンクション
2. 開発の内容 1個のLEDでハイビームとロービームを切り替える世界最小・最軽量のLEDヘッドランプユニットで、小糸製作所が世界で初めて量産化に成功した。優れた配光性能を持つ小型・軽量・省電力ユニットとして、世界各地の小型車から高級車まで採用が拡大している。

